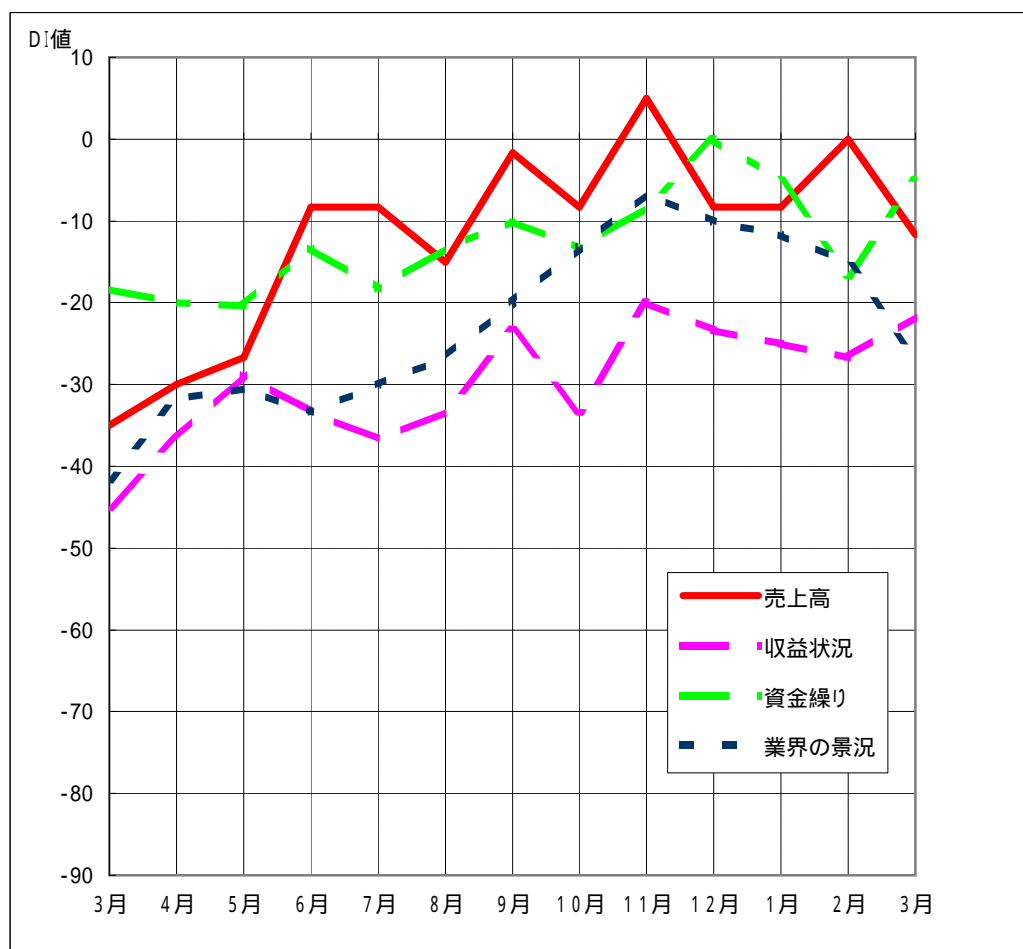


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成17年3月～平成18年3月

単位:ポイント



	h17年					h18年							
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高	-35.0	-30.0	-26.7	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3	5.0	-8.3	-8.3	0.0	-11.7
収益状況	-45.0	-36.7	-28.8	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7
資金繰り	-18.3	-20.0	-20.3	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	-5.0
業界の景況	-41.7	-31.7	-30.5	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7

3月のDI値をみると、前年同月より全項目で好転した。新潟県中越地震の影響を考慮する必要があるものの、各DI値について単純に比較をすれば「売上高」DIは前年同月より23.3ポイント改善し、マイナス11.7%に推移した。「収益状況」DIにおいては23.3ポイント改善し、マイナス20%台に推移、「資金繰り」DIは13.3ポイント改善し、マイナス1桁台に推移した。「景況」DIは前年同月より15.0ポイント改善したものの、マイナス26.7%となった。ここ3カ月の景況は、一進一退に推移している。

組合の特記事項から、製造業では「食料品」「鉄鋼・金属」の一部で企業間格差はあるが受注量が堅調に推移しているとの報告がある。しかし全体的には価格競争、原材料の高騰等で収益性が厳しいとの報告が多い。

また非製造業では、雪解けや年度末という季節的要因により好転感を感じている報告がいくつか見られたが、製造業同様価格競争等で厳しい状況にある。

新潟県内の中小企業は、一部で持ち直しに向けた動きがみられるものの、楽観視できず総体的にほとんどが景気回復を実感できない状況にある。